

～出水に備え～

富山県内4河川の洪水を想定して机上訓練を行いました

富山河川国道事務所は、5月19日（月）に富山県、富山県内土木センター及び土木事務所、富山地方气象台、水防連絡会を構成する自治体、河川情報センターと合同で、管轄する県内の4河川（常願寺川、神通川、庄川、小矢部川）での出水を想定した机上訓練を行いました。

当日は、県内の4河川の同時出水を想定し、富山地方气象台と共同で行う洪水予報の発表や、河川巡視状況の報告、被災箇所の復旧方法の検討、衛星小型画像伝送装置（Ku-SAT）を使用した内水被害箇所のリアルタイム映像の確認など、災害時における情報伝達の対応が正確にできるかの確認を行いました。

富山河川国道事務所では住民の方の「安全・安心」を守るために、本訓練の成果を活かし、出水などの災害が起こった際に確実に情報伝達が行えるよう、引き続き取り組んでいきます。



被災箇所の報告状況



10分ごとの河川水位を全員に周知



Ku-SATによる現地映像と、はん濫シミュレーション画面を表示

